

WO

施工業者様用


〈施工説明書〉

WOODONE

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

〔商品相談窓口〕

 **0120-813-331**

〔受付時間〕平日8:30~17:00

〔休日〕土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇




WO引き込み戸(両側戸袋・上吊りタイプ)専用枠材 (片側ソフトクローズ) 下地枠

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

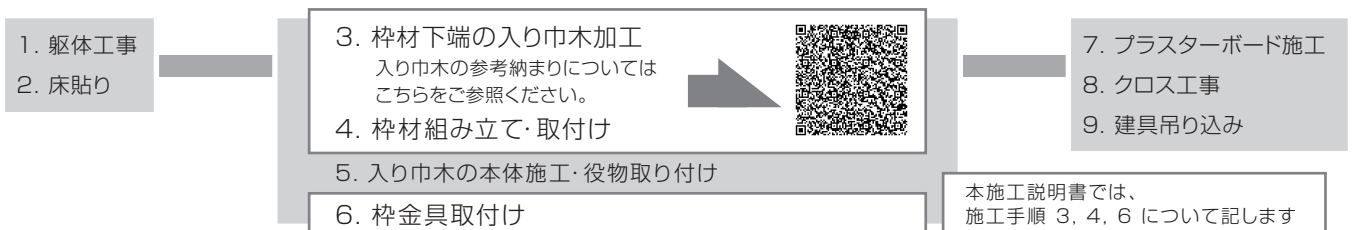
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

 注意	施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内専用。 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。 インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。
 必ずおこなう	<ul style="list-style-type: none"> ・開梱後は換気を行なう。 本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。 ・補強の飼木(現場調達)を入れる。 ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体に欠点がないことを確認する。 ビスを取り付ける際、躯体のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、ビスが固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。 ・同梱の金具を使用する。 本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。
お願い	<ul style="list-style-type: none"> ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。 ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。 	

参考施工手順(※在来工法・床先貼りの場合)

2×4工法については施工手順を参考にご検討ください



施工終了後

■養生

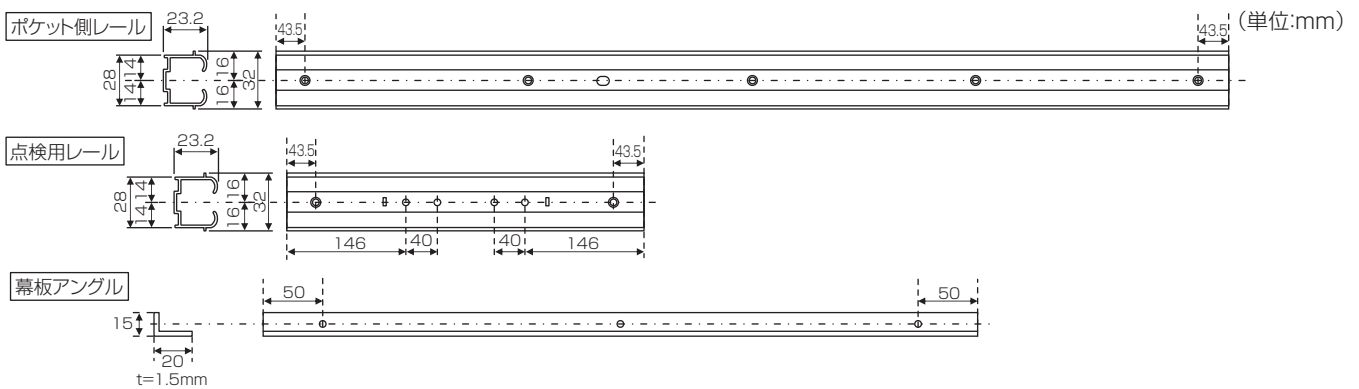
当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

1. 開梱

梱包を開いたら枠材本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■ 梱包内訳表

枠本体セット									
部材名	縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (アルミ 見切り材)	鴨居	鴨居 レール 戸先側 (短レール)	鴨居 レール 戸尻側 (長レール)	L型幕板	アルミ 戸じゃくり	
入数	引き込み戸 (両側戸袋)	1本	1本	2本	1本	1本	1本	1本	1本
備考 (部材品番等)	—	—	—	—	—	—	—	—	—



ビスセット (枠本体セットに梱包)							
袋の色	赤	赤	黄	透明	青		
部材名	木ダボ	組み立て ビス	枠固定 ビス	クッション キャップ	戸じゃくり 固定ビス		
セット品番	6mm 35mm	62mm φ3.8mm	50mm φ3.8mm	φ16	20mm φ35mm		
入数	—	ZYQH56	2本	4本	14本	4個	9本
備考 (部材品番等)	—	—	—	枠と躯体の 固定に使用 できます	—	—	—

金具セット (枠本体セットに同梱) 【標準:片側ソフトクローズ】

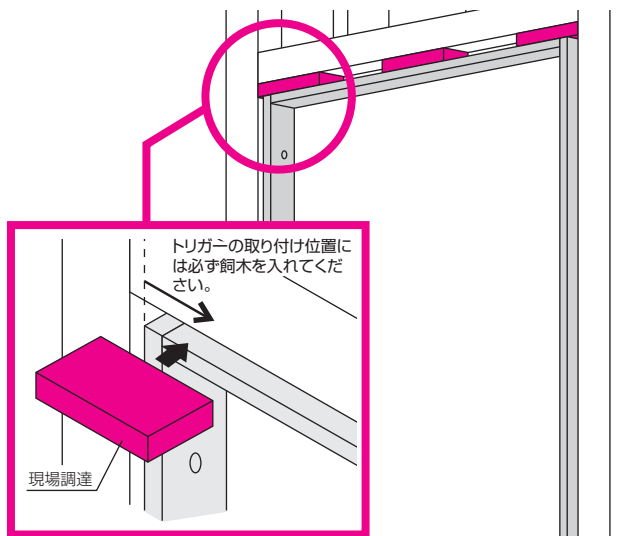
部材名	吊車	振れ止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット)			
枠外				18mm φ3.5mm					
セット品番									
入数	引き込み戸 (両側戸袋)	1644・1450	ZYTKS	1個	1個	2個	6本	1	1
備考 (部材品番等)				ZYTF21	ZY3334	ZYTNC01 ※1個しか使用しません	ZYTA01	ZYTS021	ZYTTG21

上レール 取り付け ビス (皿ビス)	
18mm φ3.5mm	+
5本	
ZY000B	

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

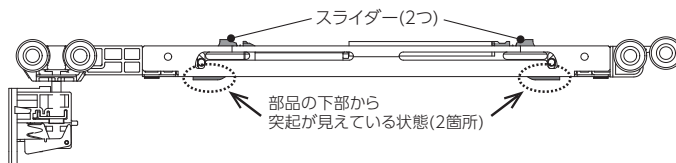


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

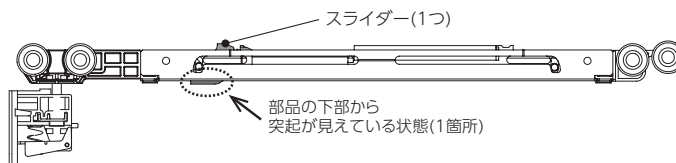
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。「エラー状態」である場合は、スライダを動かし「正常状態」にしてから取り付けください。

正常状態

両利きタイプ



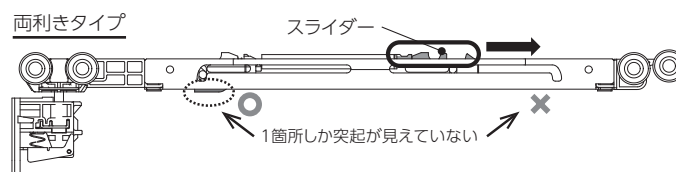
片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

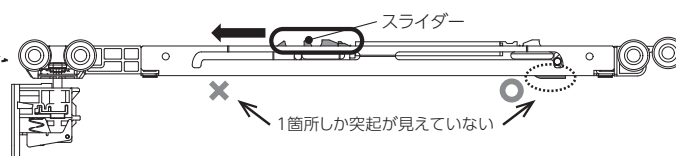
エラー状態

「カチッ」と音がするまでスライダを引っ張ると「正常状態」になります。



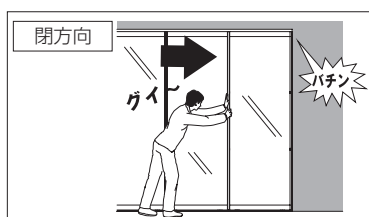
片利きタイプの場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。

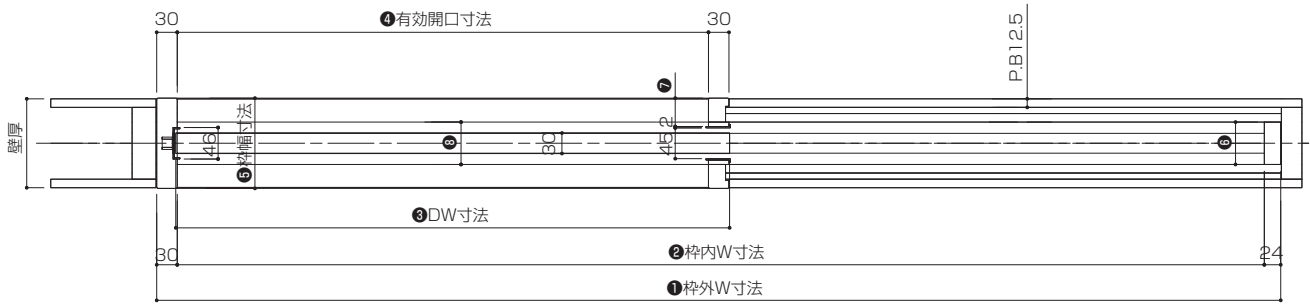


扉を動かして機能が作動することを確認してください。復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

2.納まり図

横断面図

(単位:mm)

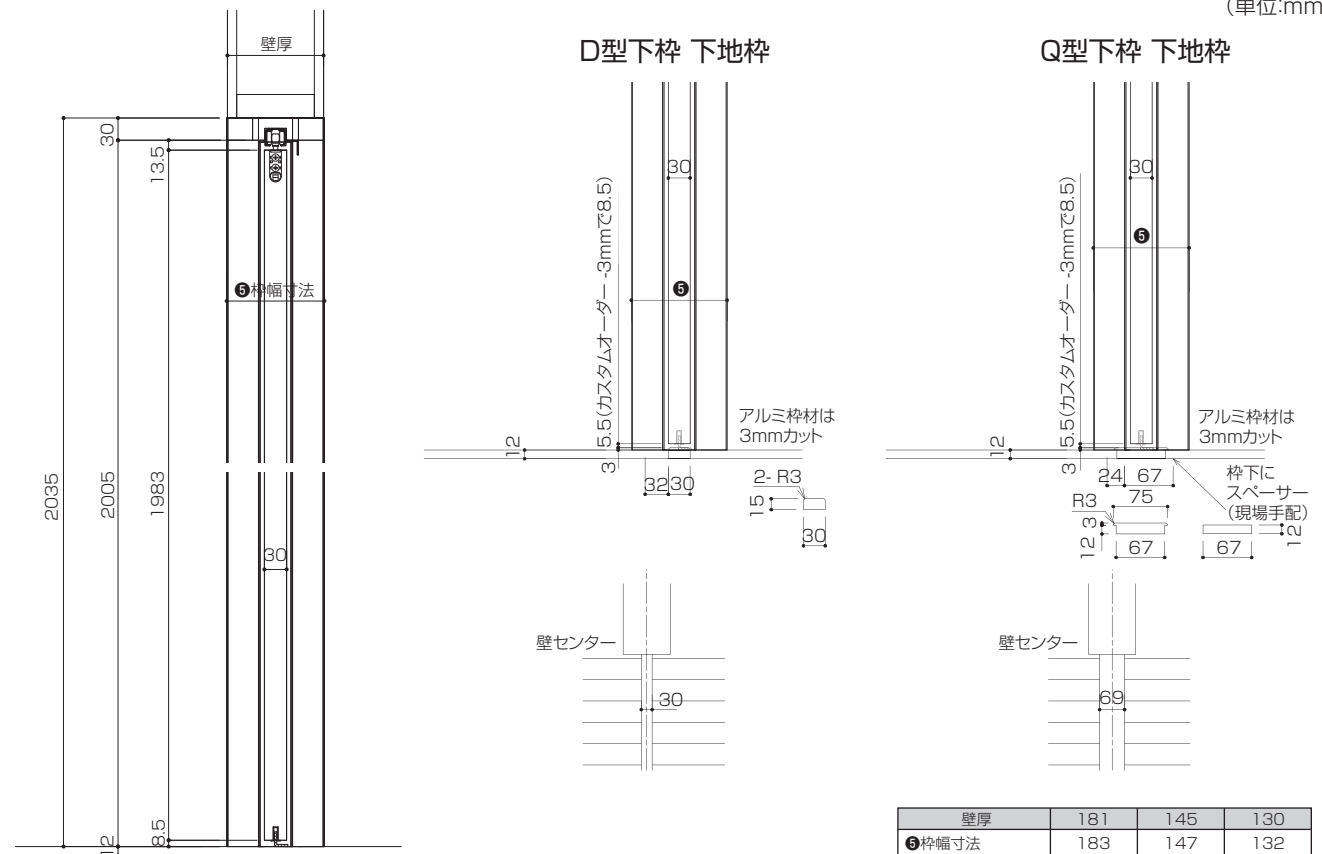


壁厚	181	145	130
⑤ 枠幅寸法	183	147	132
⑥ 戸尻枠幅寸法	113	77	62
⑦ 中方立枠幅寸法	67	49	41.5
⑧ 鴨居寸法	62	62	62

製品寸法	1644	1450
① 枠外W寸法	1644	1450
② 枠内W寸法	1590	1396
③ DW寸法	810	713
④ 有効開口寸法	777	680

縦断面図

(単位:mm)

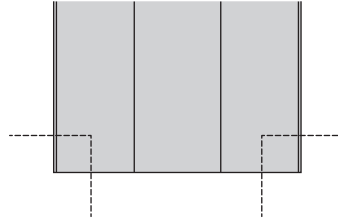


壁厚	181	145	130
⑤ 枠幅寸法	183	147	132

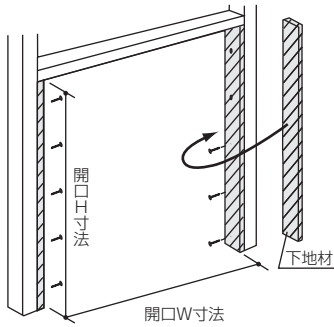
3. 施工手順

1 巾木を入り巾木で納める場合(推奨)

たて枠の下端に入り巾木のサイズに合わせたしゃくり加工を現場で入れてください。

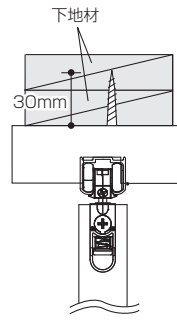


2 取り付け開口部の確認



開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。

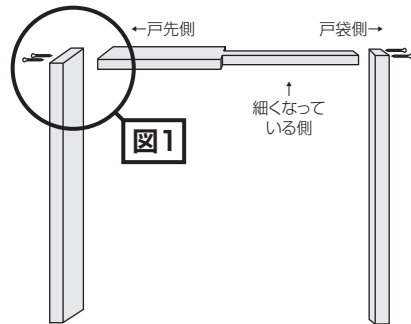
3 部材の確認



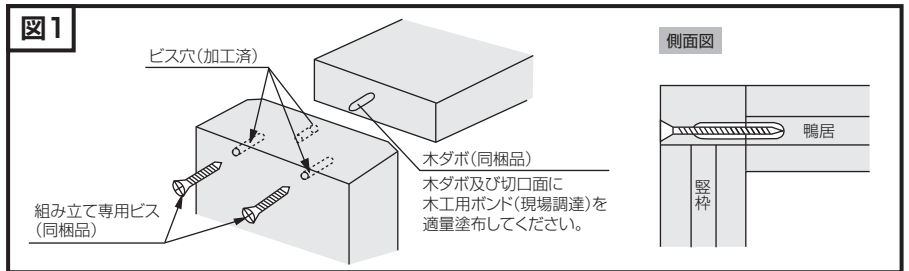
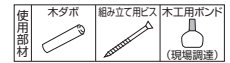
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

4 枠材の組み立て



同梱の木ダボ、組み立て用ビス、木工用ボンド(現場調達)を使用して枠材を組み立ててください。鴨居の細くなっている側が戸袋側になります。



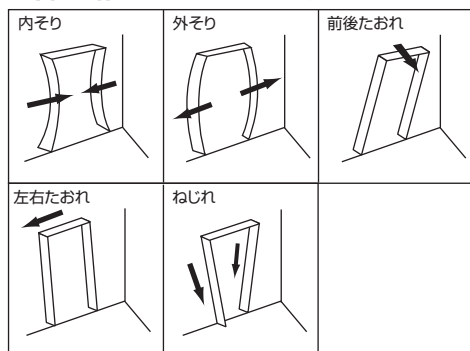
5 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の枠固定ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は飼木の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

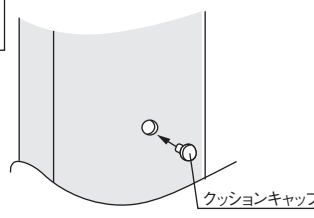
ビス推奨本数
タテ:4本×2、ヨコ:4本

※下記の様なことがないようにご注意ください。



縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

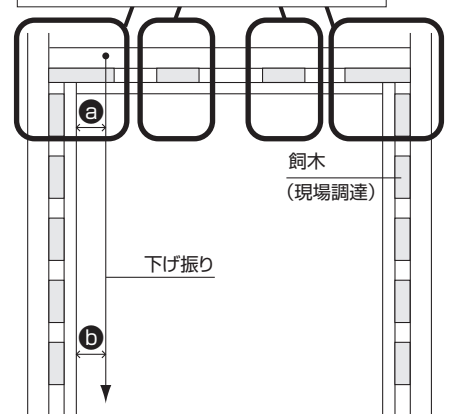
※戸尻側のみ



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



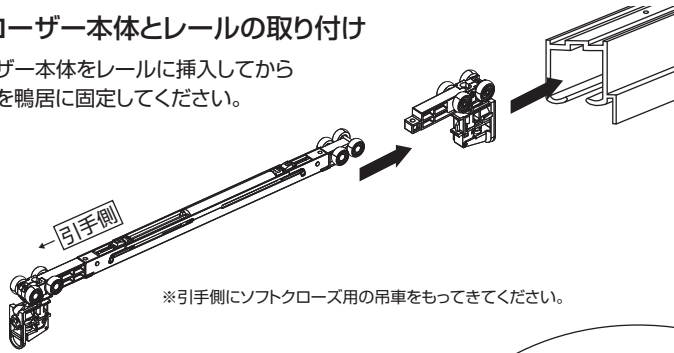
水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

6 吊り車の挿入

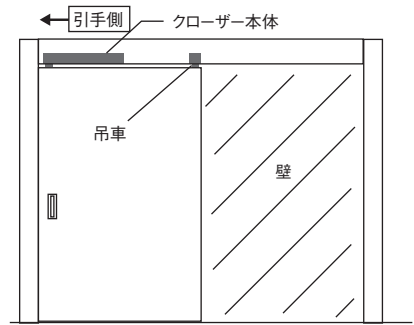
片側ソフトクローズ 仕様 標準

① クローザー本体とレールの取り付け

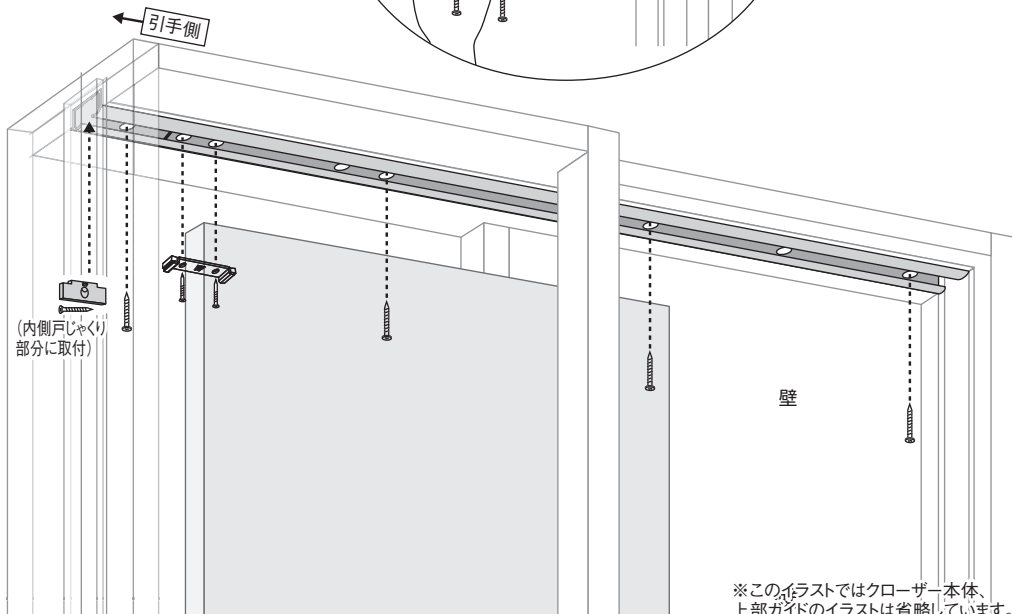
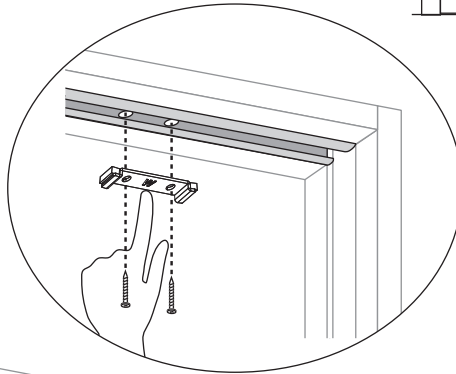
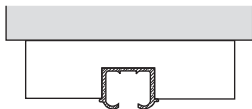
クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



※引手側にソフトクローズ用の吊車をもってきてください。

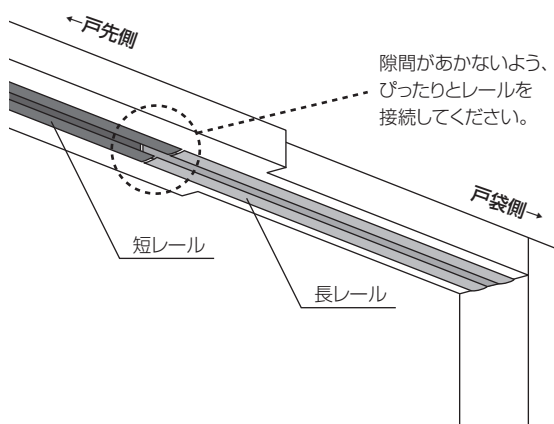
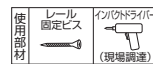


② 鴨居レール(長)の取り付け



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

7 鴨居レール(短レール)の取り付け



隙間があかないよう、ぴったりとレールを接続してください。

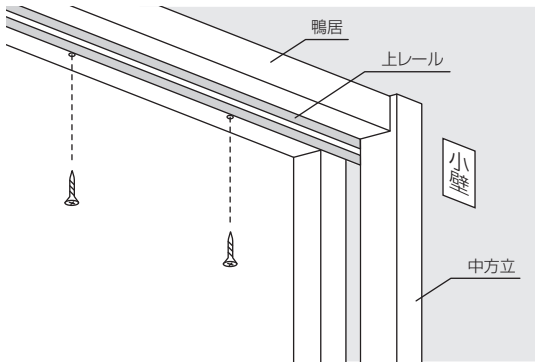
戸車挿入後、短レールを取り付けてください。

取り付ける際、短レールと長レールの接続部に隙間があかないように注意してください。

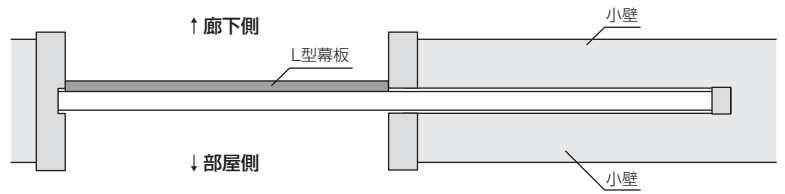
⚠ 注意

長レールと短レールの接続部分に隙間があると、引き戸の開閉時、吊車の走行に支障をきたす場合があります。長レールとクッションキャップは、必ず小壁を取り付ける前に取り付けてください。

8 L型幕板の取り付け

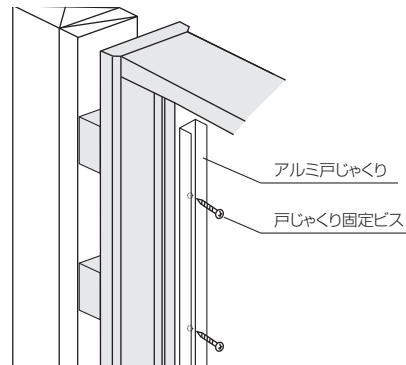


L型幕板を上レールに合わせて取り付けてください。
L型幕板は廊下側の面に取り付けてください。



9 アルミ戸じゃくりの取り付け

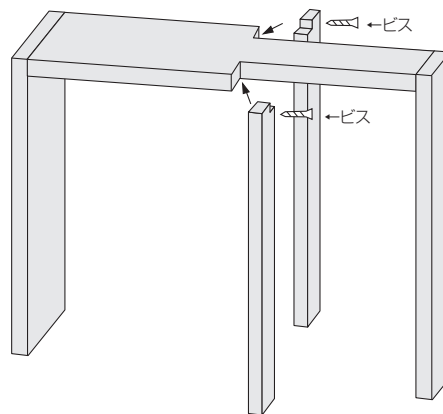
アルミ戸じゃくりを戸先側に取り付けてください。



10 中方立の取り付け



枠材の本固定後、両側の中方立を同梱の枠固定ビスで確実に固定してください。(下穴をあけてからビスを固定してください)
水準器などを使用して垂直に中方立を取り付けるようにしてください。



11 小壁の取り付け

枠組が完了しましたら、両側の小壁を施工してください。

WOODONE